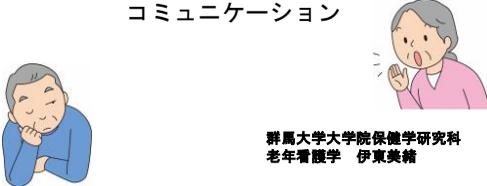


国立研究開発法人日本医療研究開発機構 長寿・障害総合研究事業
 研究開発課題：BPSDの解決につながる各種評価法と、BPSDの包括的予防・治療指針の開発
 ～笑顔で穏やかな生活を支えるポジティブケア～ 分担研究

【修正版 2020.3.16】
 認知症症状の悪化を回避するケア
 “不同意メッセージ”という考え方の提案と
 コミュニケーション



群馬大学大学院保健学研究科
 老年看護学 伊東美緒

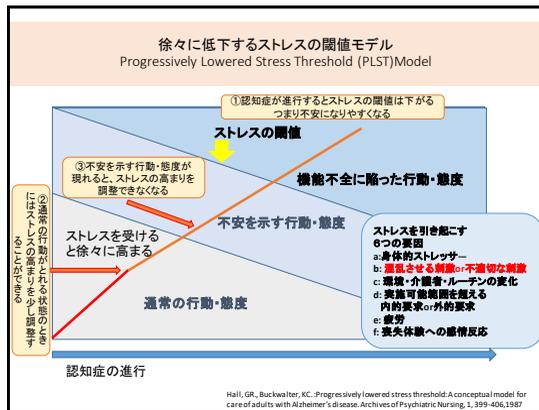
認知症症状は
 認知症の人だけに原因があるの？

私たちが怒る時・・・

・みなさんは、イライラしたときに
 すぐに怒り出しますか？



苛立つことが度重なることで
 怒りにつながるのでは？



度重なる指示により、
 認知症症状が悪化してみえることも・・・



症状が激しくなると、身体抑制や
 向精神薬投与につながることも！

かかわりの中から生まれた認知症症状は
 かかわりで改善する努力を！

専門職が重要と思うものを重視しすぎると、
 認知症の人を追いつめる！？



いつまでこれらに縛ら
 れる必要がある？

人生最期の
 楽しみは？

他の方法はない？

こうしたことについて
 議論することも大切！

コミュニケーションを構成するもの

言語的
(例: 会話で使用される言葉)

身体的
(例: 血圧・脈拍)

体験されることば

行動・感情的
(例: じくさ、態度・行動)

言葉を使うのが難しい人に、言葉に頼ったアプローチ？

観察調査からみつけた5つの不同意メッセージ

専門職のかかわりが難なとき、認知症の人は懸命にメッセージを示しています！

謝罪

服従

憤懣

転嫁

遮断

1) 伊東美穂ら, 不同意メッセージへの気づき: 介護職員とのかかわりの中で出現する認知症の行動・心理症状の図解にむけたケア, 日本老年看護学雑誌, 15(1) 95-12, 2013
2) 伊東美穂ら, 認知症の気づきを探る, p7-24, 2013

「服従」という不同意メッセージ デイサービスでよくみられる場面

身ぐるみはがされるような思いなのでは？

靴を下駄箱に入れてください

服従

上着を服いここに掛けてください

服従

カバンをロッカーに入れてください

服従

こんな所いられるかー!!

怒り!

突然どうしたの？

「服従」という不同意メッセージ

- 自分の気持ちとしては「やりたくない」のに、職員が熱心に勧めるので「仕方なくやる」
- 職員は予定通りにできたことで問題視せず、別の場面でも繰り返し熱心に勧める

→ 自分の意図と反したことを強いられ続け、我慢の限界を迎えて怒り出したり落ち込んだりする

「服従」への気づきと対応

自分とのかかわりの中で、認知症症状が悪化したとき

★かかわりのプロセスを振り返り、「本人が嫌がっていたのに半ば強引に誘導した」と気づいたときは・・・

★*次回は声かけはするけれど、「無理に誘導するのはやめる」といったプランを立てることができる。

本当は必要のない強制的なケアを減らすことが大切

「謝罪」という不同意メッセージ

「そういうの苦手」、「やりたくない」と表現しているのに、職員に強くすすめられて仕方なくやる。すると簡単なことが「できない」ことに直面して落ち込むことにつながる。

そんなこと言わないでやってみましょう

出来る所まででいいんですよ

性格がおとなしいアルツハイマー病の女性で、失行・失認のある人によく観察される

落ち込んだときに出てくるのが「謝罪」

自分なりに頑張るけれどもできない



すみません...
こんな事も
出来ずに...

落ち着きをなくし「掃らせていただきます」などと言う（掃宅願望）けれども、「もうすぐ食事だから座ってください」などと言われて、また従ってしまう・・・

「転嫁」という不同意メッセージ

自分のせいではない、他の人や物のせいだと主張する



私のせいじゃないわ!

紙がかたい!!

① ②

③ この服 変なのよ...

④ この服 小さいのかもね

⑤ 言うこと聞かないの...

⑥ 師の手 なんだけど

気丈なアルツハイマー病の失行・失語のある人によく観察される

「転嫁」「謝罪」への対応

責任転嫁を手伝う!



私の並べ方が良くなかったわ

今日の折り紙 安いのかも

① ②

③ この服 小さいのかもね

④ それは大変。 見ているだけでもいいよ

「遮断」という不同意メッセージ



① ②

③ ○○さん ごほんですよ!

④ うるさい!! うちに帰る!!

気の短い他者とのかわりが苦手な男性に多い

寝たふり 聞こえないふり

しつこく声をかけられると怒り出す

「遮断」への対応



何かお方にごほんが 届いたので あったかいうちに ください

あー、ごほんが 出来たら行くわ

早めの声掛けや誘導を減らす

食事の用意ができてから声をかける

待たせない環境を整える

「憤懣」という不同意メッセージ



他者とのかわりが苦手な 気の短い男性に多い

怒っているのだが、独り言のように怒る職員には「機嫌が悪い」程度にしか捉えられず、特に介入してもらえない

奇立ちが続くと、他の患者・利用者への攻撃につながることもあるので注意が必要

「憤懣」への対応

大きな声で声をかけるとかえって察り出すことが多い

相手の目を見て、こちらに注意が向けられているのを確認してからジェスチャーで伝える言葉に頼ると苛立ちの原因になる

機能が悪いときには好きなことへの誘導が効果的



認知症症状を和らげるには日常ケアの苛立ちポイントを知る！

大きな声で、掴まれ、急かされたら・・・苛立つし、怖いし、腹が立つ！

不同意メッセージに気づいたら、無理強いを減らす工夫を話し合うことが大切。

同時に基本的なコミュニケーションを試してみよう！



日常的な声掛けにも問題が！つい大きくなってしまいうで苛立つ可能性



認知機能や感覚機能が低下した人に肩をすくめる仕事がよく観察される

日々の苛立ちを減らすために・・・

声をかけて反応を数秒まっくと察り出す効果的

お父さん

視野に入り、目を合わせて声をかける。目を閉じているときには椅子やテーブルをノック。

我々を認識できれば意思疎通が図れる。苛立ちが少ないと受け入れが増える

家族にもお伝えください！

参考：ユマニチュード入門、本田美和子ら、医学書院、2015

対応に困る場面の読み解き方

認知症の人の“想い”を探る

繰り返し行動について考える

- ・繰り返しナースコールを押す(何度も呼ぶ)
- 【現在の対策】可能な限り訪室する⇒解決しない！

何が問題？ **頑張っている割に、不安が蓄積！**

- ・来てくれない不安(コールが重なった時はいけない)
- ・来てても話を聞いてくれない不安(昼頃になるとスタッフがイライラするのでゆっくり聞ける心理状態にない)
- ・置き去りにされる不安(午後になると業務が遅れてくるので、「大丈夫！」などと言ってすぐに退室)

頻回のナースコールへの対応

・安心してもらうためには、“みんなが気にしてくれている”と感じてもらうためのアプローチが必要！

☆優しく接するにはこちらに余裕がないとダメ

☆よい感情記憶を残すためには、短い時間でよいので、頻回に声をかけることが大切

やってみよう！

日勤スタッフが、一人につき午前1回、午後1回、「お話しに来ました」「会いに来ました」と声をかける。1分以内でよし！（スタッフの負担になると継続できない）部屋を出るときには、「また来ますね！」を忘れずに！

暴言・暴力について考える

【現在の対策】

傾聴する、好きなことを探す（あまり効果ない）

身体抑制、向精神薬（行動は抑えられるが身体・精神機能低下）

何が問題？

・スタッフ：認知症の人に“恐怖”を感じると、その人を見なくなる（目が合って呼ばれるのを避けたい！）

・認知症の人：たくさんスタッフがいるのに、誰も自分を見てくれない＝“存在そのものを否定される恐怖”

⇒スタッフの気をひくために、大声で何度も呼ぶ

⇒それでも反応が得られなければ怒り、暴力にいたることも！

暴言・暴力への対応

・安心してもらうためにはかかわりが大切
・しかし、スタッフも怖いので容易に近づけない

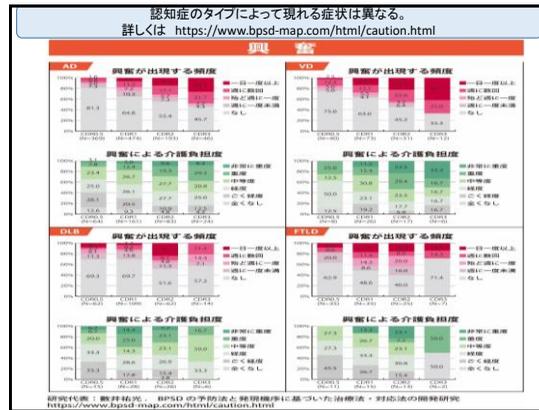
☆離れたところからでいいので、機会あるたびに5秒ほど目を合わせる

☆5秒見ていると、かなりの確率で目があう！

☆目が合ったら、笑いかける、会釈する、手を振るなどのリアクションを返す！

⇒スタッフみんなで取り組むことで、“みんなが気にかけてくれている”というよい感情記憶が残る

⇒表情がやわらかくなり、近づきやすくなる



キーワードは感情記憶！

“不同意メッセージ”に気づき、嫌なことを繰り返し強要する機会を減らそう

認知症症状の改善には、薬剤だけでなくケアの力が大切

不要な身体拘束や向精神薬の投与を防ごう

ケアスタッフの力を実感してください